

## 講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道 I	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	吉田 亜紀	講師 プロフィール	本校卒業後、美容室、ヘアセットサロン勤務						

**【授業を通じての到達目標】**

ゼミやガイダンスを通して身構え、気構え、心構えを活かし就職活動に向け準備をする。  
また就職準備の中で流れをよく理解し自己プロデュースや面接についても学ぶ。  
2セメスターの中で現場に最低2～3回は参加出来るよう自身で計画する。

**【学習内容】**

目標設定をして振り返りを行う  
ガイダンス/ゼミ/その他講義などを通して就職活動に向けての基本、知識を学ぶ

**【使用教科書・教材・参考図書】**

**【授業時間外における学習・宿題・課題など】**

プロ道ファイル/筆記用具

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/16)	【到達目標】 イカムフォト提出準備/後期の目標設定	⑨ (11/18)	【到達目標】 キャリアスタートガイダンス②(太田先生)/欠席確認
② ( / )	【到達目標】 キャリアスタートガイダンス1(太田先生)/欠席確認	⑩ (11/25)	【到達目標】 TOKONガイダンス
③ (10/7)	【到達目標】 ハイパーQU ベルフェス準備①	⑪ (12/2)	【到達目標】 2年生の就職講座
④ (10/14)	【到達目標】 ベルフェス準備②	⑫ (12/9)	【到達目標】 冬休みについて
⑤ (10/21)	【到達目標】 ベルフェス準備③	⑬ (12/16)	【到達目標】 コンテストテーマ/目標管理/冬休みのしおり
⑥ (10/28)	【到達目標】 ベルフェス振り返り 履歴書作成/ポータルサイト	⑭ (1/20)	【到達目標】 キャリアスタートガイダンス③(太田先生)/コンテスト説明
⑦ (11/4)	【到達目標】 就職について/就職アンケート/	⑮ (1/27)	【定期試験】60 定期試験
⑧ (11/11)	【到達目標】 ベルコン振り返り	<b>【成績評価の方法と基準】</b> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

**【履修に当たっての心構え・留意点】**

## 講義シラバス

科目名	ベーシックメイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	松丸亜弥美	講師 プロフィール	ヘアメイクサロン経営。テレビ・広告・ブライダル・撮影なども行っている						

**【授業を通じての到達目標】**

メイクの基礎を活かし、様々なメイクに対応できる基礎知識を活かし実践する。  
様々な現場に必要なアシスタント力、主体性、コミュニケーション力、チームワーク力を身に付ける。

**【学習内容】**

様々なメイクの応用後術を学ぶ

**【使用教科書・教材・参考図書】**

メイク道具一式・筆記用具

**【授業時間外における学習・宿題・課題など】**

事前準備(授業前までに準備)

日時	授業計画	日時	授業計画
① 9/16	【到達目標】小テスト2点 作品撮り準備	⑨ 11/18	【到達目標】小テスト3点 森田先生によるブライダルヘアメイク授業
② 9/30	【到達目標】小テスト3点 伊藤惇先生とのコラボ授業作品撮り	⑩ 11/25	【到達目標】小テスト3点 森田先生によるブライダルヘアメイク授業
③ 10/7	【到達目標】小テスト2点 つけまつ毛を使って可愛らしい印象のメイクが出来るようになる	⑪ 12/2	【到達目標】小テスト3点 振袖に合うメイク
④ 10/14	【到達目標】小テスト2点 つけまつ毛を使ってカッコいい印象のメイクが出来るようになる	⑫ 12/9	【到達目標】小テスト3点 振袖に合うメイク
⑤ 10/21	【到達目標】小テスト2点 森田先生によるブライダルヘアメイク授業	⑬ 12/16	【到達目標】小テスト4点 自まつ毛に合わせたカットクリース
⑥ 10/28	【到達目標】小テスト3点 森田先生によるブライダルヘアメイク授業	⑭ 1/13	【到達目標】小テスト4点 自まつ毛に合わせたカットクリース
⑦ 11/4	【到達目標】小テスト3点 森田先生によるブライダルヘアメイク授業	⑮ 1/20	【定期試験】60 定期試験
⑧ 11/11	【到達目標】小テスト3点 森田先生によるブライダルヘアメイク授業	<b>【成績評価の方法と基準】</b> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b> 名札・必須道具の忘れ物は小テストよりマイナスとする			

## 講義シラバス

科目名	ベーシックヘア	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	学年	1年		講師名		岸田 知紘		
講師 プロフィール	札幌ビューティ・メイク専門学校卒業。美容師免許取得。管理美容師取得。卒業後、(株)田谷に入社。経験を経て、ヘアセットの世界へ。セット歴18年。フリーの講師の他、メイク・着付けの技術を活かし、活動の場を広げています。								
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
ヘアセットの技術の基礎を固め応用を学び、様々なヘアに対応し現場で活躍出来るようになる。 現場に必要な人間力を身に付け、現場にいけるようになる。									
<b>【学習内容】</b>									
基礎を知る。技術は反復により一層の理解を深める。【出来る】【分かる】が自信に繋がり向上心へとつながる。ヘアセットの面白さが分かる。									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
セットウィッグ・クランプ・ホットカーラー・ロールブラシ・ダッカール・ピン類 黒ゴム・ゴムを切るハサミ・ハードスプレー・ドライヤー・水スプレー ヘアアイロン・テールコーム									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/15)	【到達目標】 すき毛を使った和装シニヨン1 小テスト 3点				⑨ (11/17)	【到達目標】 ハーフアップ(ボンバ) 小テスト 3点			
② (9/29)	【到達目標】 すき毛を使った和装シニヨン2 小テスト 2点				⑩ (11/24)	【到達目標】 ストレートアイロンでウェーブ 1 小テスト 3点			
③ (10/6)	【到達目標】 メンズカット&セット 小テスト 2点				⑪ (12/1)	【到達目標】 ストレートアイロンでウェーブ 2 小テスト 2点			
④ (10/13)	【到達目標】 ダウンスタイル 1 小テスト 3点				⑫ (12/8)	【到達目標】 定期試験 課題 カールアップ 小テスト 4点			
⑤ (10/20)	【到達目標】 ダウンスタイル 2 小テスト 2点				⑬ (12/15)	【到達目標】 定期試験練習 1 小テスト 4点			
⑥ (10/27)	【到達目標】 テストとファッション 1 小テスト 3点				⑭ (1/19)	【到達目標】 定期試験練習 2 小テスト 4点			
⑦ (11/3)	【到達目標】 テストとファッション 2 小テスト 4点				⑮ (1/26)	【定期試験】60 定期試験			
⑧ (11/10)	【到達目標】 ハーフアップ(かぶせ) 小テスト 3点				<b>【成績評価の方法と基準】</b> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									
名札・忘れ物は、小テストよりマイナスとする									

## 講義シラバス

科目名	ピックアップヘアメイクⅠ (特殊メイク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	鶴岡瑛子	講師 プロフィール	東京でフリーランスの特殊造型・特殊メイクスタッフとしてMVやTVCM、映画製作などに携わる。現在は札幌に活動の拠点を移し、札幌ベルエポック美容専門学校にて非常勤で特殊メイク実習を行っている。						

**【授業を通じての到達目標】**

専門的なヘアメイク技術を学び、ヘアメイクの幅を広げ感性を身に付ける。  
様々なヘアメイク技術と必要な知識・基本技術を身に付ける。

**【学習内容】**

普段使用しているメイク道具を用いて、傷メイクやゾンビメイクなどの基本的な特殊メイクを行う。また、特殊メイクで用いる材料や道具の使い方も学ぶ。また、ヘアの先生の講義も交えることでより深く技術を高めていく。(日時は変更あり)

**【使用教科書・教材・参考図書】**

メイク道具一式、筆記用具、特殊メイク用品など。

**【授業時間外における学習・宿題・課題など】**

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/15)	【到達目標】1年の流れを理解する 小テスト4点 オリエンテーション	⑨ (11/17)	【到達目標】骨格の違いを理解する 小テスト3点 マニッシュメイク
② (9/29)	【到達目標】ホラーのメイクに触れてみる 小テスト3点 ゾンビメイク	⑩ (11/24)	【到達目標】時間経過による影響を理解する 小テスト3点 老齡メイク
③ (10/6)	【到達目標】身近にある教材でベイントを理解する 小テスト3点 傷メイク	⑪ (12/1)	【到達目標】ドーランの使い方を学ぶ 小テスト3点 白塗りメイク
④ (10/13)	【到達目標】 ヘア授業	⑫ (12/8)	【到達目標】ドーランからさらに応用したメイクができるようになる 小テスト3点 スカルメイク
⑤ (10/20)	【到達目標】 ヘア授業	⑬ (12/15)	【到達目標】傷メイクをさらに理解できるようになる 小テスト3点 傷メイク応用
⑥ (10/27)	【到達目標】 ヘア授業	⑭ (1/19)	【到達目標】定期試験の準備を万全にする 小テスト3点 定期試験準備
⑦ (11/3)	【到達目標】 ヘア授業	⑮ (1/26)	【定期試験】60 定期試験準備
⑧ (11/10)	【到達目標】肌の違いを理解する 小テスト3点 具合悪いメイク	<b>【成績評価の方法と基準】</b> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

**【履修に当たっての心構え・留意点】**

普段学ぶビューティメイクとはまた違ったメイクの世界に触れ、  
表現の引き出しを増やし、楽しむ。

## 講義シラバス

科目名	トータルコーディネート I	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	國枝知夏	講師 プロフィール	東京でフリーのスタイリストとして老若男女問わずタレント・アーティスト・俳優の方々を担当しCM、映画、バラエティ、雑誌、MV、ショーなど様々な現場に20年程携わる						

### 【授業を通じての到達目標】

基礎を応用し活用出来る力を身につける事が出来る。  
課題に積極的に取り組み、プロ意識をもって何事もチャレンジ精神で挑む事が出来る。  
トータルプロデュースが出来、現場で求められるプロフェッショナルな業界人を目指す。

### 【学習内容】

これまで学んできた知識を集結させたスタイリングと一つの服を全く違うものへとリメイクした衣装を制作し他者への提案ができるようになる

### 【使用教科書・教材・参考図書】

筆記用具・ファイル・スマートフォン(タブレット) その他の必要なものは講義毎

### 【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9 /17 )	【到達目標】2点 オリエンテーション・シラバスと後期授業の流れについて	⑨ (11 /19 )	【到達目標】2点 リメイク衣装の制作 計画に沿って作業を進めることができる
② (10 /1 )	【到達目標】3点 指定されたテーマに合わせたトータルコーディネートができる【セル(自己)ブランディング】	⑩ (11/26)	【到達目標】2点 リメイク衣装の制作 計画に沿って作業を進めることができる
③ (10 /8 )	【到達目標】4点 指定されたテーマに合わせたトータルスタイリングを表現することができる(撮影場所・ポージング・照明など意識して)【撮影】	⑪ (12 /3 )	【到達目標】2点 リメイク衣装の制作 計画に沿って作業を進めることができる
④ (10 /15)	【到達目標】3点 指定されたテーマに合わせたトータルコーディネートができる【他者ブランディング(プロデュース)】	⑫ (12 /10 )	【到達目標】4点 リメイク衣装の制作 計画に沿って作業を進めることができる【捗状況を把握してそれを伝えることができる】
⑤ (10/22)	【到達目標】4点 指定されたテーマに合わせた他者へのトータルスタイリング提案とその表現ができる【撮影】	⑬ (12 /17 )	【到達目標】2点 リメイク衣装の制作 計画に沿って作業を進めることができる
⑥ (10/29)	【到達目標】2点 実践に活かせる縫い方ができるようになる(ボタン付け・裾上げ・用途に合わせた手縫いの方法)	⑭ (1 /21 )	【到達目標】5点 リメイク衣装を完成させ衣装をよりよく見せるためのトータルコーディネートができる(定期試験準備)
⑦ (11 /5 )	【到達目標】2点 実践に活かせる縫い方ができるようになる(用途に合わせた手縫いとミシン使い)	⑮ (1 /28 )	【定期試験】60 リメイク衣装を用いたプレゼンテーション
⑧ ( 11/12)	【到達目標】3点 リメイク服作成に向けオリジナルデザインを作成し、完成に向けた計画を立てることができる	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

### 【履修に当たっての心構え・留意点】

忘れ物・授業態度も小テスト点数に反映します 自分のコーディネートを意識して登校する

## 講義シラバス

科目名	ビューティーヘアメイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	メイクアップアトリエ 森夏子・本間乙葉	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが17名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
ヘアメイク技術を応用し様々なジャンルのヘアメイクを作る事ができる。 幅広いジャンルに対応できるようになる事で現場で活躍出来る様になる。									
【学習内容】									
ヘアメイクの応用パターンの理解、実践。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一色									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① ( / )	【到達目標】 ナチュラルをテーマにヘアメイク				⑨ ( / )	【到達目標】 ヴィンテージをテーマにヘアメイク			
② ( / )	【到達目標】 フェミニンをテーマにヘアメイク				⑩ ( / )	【到達目標】 ファンタジーをテーマにメイク			
③ ( / )	【到達目標】 クールをテーマにヘアメイク				⑪ ( / )	【到達目標】 ダークをテーマにメイク			
④ ( / )	【到達目標】 モードをテーマにヘアメイク				⑫ ( / )	【到達目標】 アートをテーマにメイク			
⑤ ( / )	【到達目標】 ブライダルをテーマにヘアメイク				⑬ ( / )	【到達目標】 サイバーをテーマにメイク			
⑥ ( / )	【到達目標】 韓国風をテーマにヘアメイク				⑭ ( / )	【到達目標】 定期試験練習			
⑦ ( / )	【到達目標】 ストリートをテーマにヘアメイク				⑮ ( / )	【定期試験】60 定期試験			
⑧ ( / )	【到達目標】 中間チェック				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

## 講義シラバス

科目名	アシスタントプログラム I	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	松本奏絵	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校ヘアメイク科を卒業後ヘアメイク事務所に所属。現在はフリーランスでブライダルをメインに活動。						
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
ヘアメイク業界の情報と、現場に必要な知識・アシスタントとして必要な現場の動きを实践する。 アシスタントとして仕事をする際のクライアントへの気配り、現場のマナーを身に付け行動に移す。 様々な現場を通じてアシスタント力、主体性、コミュニケーション力、チームワーク力を発揮し即戦力を旨す。 授業内の学びの様子を学生がSNSで発信出来る様になる。									
<b>【学習内容】</b>									
アシスタントとしての必要な知識、技術を身につける。ヘアメイクの基礎を固める。									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
ヘアメイク道具一式、筆記用具					授業前にヘアメイク道具の準備				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① ( / )	【到達目標】ヘアメイク道具一式 講師、生徒それぞれの自己紹介、自分の好きなテイスト、世界観をカラージュで表現する				⑨ ( / )	【到達目標】 時間内にフルメイク、ヘアセットができるようになる(①)			
② ( / )	【到達目標】ヘアメイク道具一式、相モデル① カラージュで作った自分の世界観を表現する(実技)				⑩ ( / )	【到達目標】 時間内にフルメイク、ヘアセットができるようになる(②)			
③ ( / )	【到達目標】ヘアメイク道具一式、相モデル② カラージュで作った自分の世界観を表現する(実技)				⑪ ( / )	【到達目標】 一束、編み込み、ピン打ちをマスターする			
④ ( / )	【到達目標】 アシスタントとしての現場での動き方を学ぶ				⑫ ( / )	【到達目標】 コンプレックスをカバーするメイクを学ぶ(相モデル①)			
⑤ ( / )	【到達目標】 スタイリング剤の使い分けを理解する				⑬ ( / )	【到達目標】 コンプレックスをカバーするメイクを学ぶ(相モデル②)			
⑥ ( / )	【到達目標】 一人一人に合わせたナチュラルな肌づくりを覚える				⑭ ( / )	【到達目標】 モデルの特徴を活かしたヘアメイク(定期試験①)			
⑦ ( / )	【到達目標】 リボンを使ったヘアセットを覚える				⑮ ( / )	【定期試験】60 モデルの特徴を活かしたヘアメイク(定期試験②)			
⑧ ( / )	【到達目標】 リボンを使ったヘアセット(中間チェック)				<b>【成績評価の方法と基準】</b>				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									
授業内容は変更になる場合があるのでteamsで随時連絡します									

## 講義シラバス

科目名	ブライダルヘアメイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	渋谷 海(LiLi)	講師 プロフィール	美容学校卒業後、道外のサロンにてサロン業務、ヘアメイクを学ぶ。その後ドレスショップにて経験を積み、独立。フリーのヘアメイクとして活動。現在はアイリストを中心にブライダルヘアメイク等を行っている。						
<b>【授業を通じての到達目標】</b>									
ブライダル業界の知識やヘアメイク技術の基礎を身につける。 ブライダルヘアメイクに特化できるよう必要な知識、基本技術を身につける。現場に必要な人間力を身につけ、現場に行けるようになる。									
<b>【学習内容】</b>									
ブライダルのヘアメイクを中心にコーディネート、基礎知識を身につける。									
<b>【使用教科書・教材・参考図書】</b>					<b>【授業時間外における学習・宿題・課題など】</b>				
ヘアメイク道具一式、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/18)	【到達目標】 自己紹介、ウィッグでブライダルのヘアスタイルをつくれるようになる(アップと編みおろし)				⑨ (11/20)	【到達目標】 色々な編み方、ヘアセットのレパートリーを増やす。			
② (10/2)	【到達目標】 前回ウィッグでつくったスタイルを相モデルで実践する				⑩ (11/27)	【到達目標】 次回に向けてコンセプトシート作成。ギャルメイク、つけまつ毛の付け方を学ぶ。			
③ (10/9)	【到達目標】 ブライダルメイクを相モデルで行う。パーソナルカラーについて学ぶ。				⑪ (12/4)	【到達目標】 テーマを決めてブライダルヘアメイクを完成させ、撮影まで行う。1人目			
④ (10/16)	【到達目標】 相モデルでヘアメイクを行う(ドレス着用)ダウンスタイルをつくれるようになる。				⑫ (12/11)	【到達目標】 テーマを決めてブライダルヘアメイクを完成させ、撮影まで行う。2人目			
⑤ (10/23)	【到達目標】 ウィッグで和装ヘアについて学ぶ。造花をバランス良く付けれるようになる。				⑬ (12/18)	【到達目標】 ウィッグでヘアセット。見本のヘアスタイルを提示し、似せてつくれるようになる。			
⑥ (10/30)	【到達目標】 お色直しを意識したヘアスタイルづくり。結婚式当日のスケジュールについて学ぶ。和装について学ぶ。				⑭ (1/22)	【到達目標】 相モデルで定期試験を意識し、ヘアセットを行う。コンセプトシート作成。			
⑦ (11/6)	【到達目標】 相モデルでヘアメイクが時間内に出来るようになる(ドレス着用)挙式スタイル				⑮ (1/29)	【定期試験】60 相モデルでブライダルヘアメイクを行う(60分)ドレス着用			
⑧ (11/13)	【到達目標】 相モデルでヘアメイクが時間内に出来るようになる(ドレス着用)お色直しスタイル				<b>【成績評価の方法と基準】</b> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>									

## 講義シラバス

科目名	撮影クリエイト (スチールヘアメイク)	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	石川紗織・鹿内魁人	講師 プロフィール	三景スタジオ退社後、フリーランスヘアメイクへ転向。 約10年間、冠婚葬祭、広告など様々なジャンルのヘアメイクを担当し、現在はヘアメイク マネジメント会社を運営。 札幌市内外、婚礼会場、フォトスタジオと提携し、主に婚礼業務を行う。						

**【授業を通じての到達目標】**

撮影の基礎を意識しクリエイティブな作品を作り上げる。  
現場に必要な人間力を身につけ、現場に行けるようになる。  
撮影の基礎から応用までの技術を学び様々なシーンの撮影に対応できる技術を身につける。

**【学習内容】**

グループの作業からチームでの動きを学ぶ。写真撮影をヘアメイクから編集まで行いことができる技術を身につける

**【使用教科書・教材・参考図書】**

ヘアメイク道具一式、筆記用具

**【授業時間外における学習・宿題・課題など】**

日時	授業計画	日時	授業計画
① 9/17	【到達目標】2点 SNSで発信出来る準備をする	⑨ 11/19	【到達目標】2点 企業イメージに合わせたヘアメイクを作ることが出来る
② 10/1	【到達目標】2点 写真を自分で編集出来る	⑩ 11/26	【到達目標】2点 【中間チェック】企業イメージに合わせたヘアメイクを作ることが出来る
③ 10/8	【到達目標】2点 クリエイティブ作品を作ることが出来る	⑪ 12/3	【到達目標】2点 就職活動に向けて、作品を作り上げることが出来る
④ 10/15	【到達目標】2点 クリエイティブ作品を作ることが出来る	⑫ 12/10	【到達目標】2点 就職活動に向けて、作品を作り上げることが出来る
⑤ 10/22	【到達目標】3点 【中間チェック】クリエイティブ作品を作ることが出来る	⑬ 12/17	【到達目標】2点 就職活動に向けて、作品を作り上げることが出来る
⑥ 10/29	【到達目標】2点 衣装に合わせたヘアメイクを作ることが出来る	⑭ 1/21	【到達目標】2点 就職活動に向けて、作品を作り上げることが出来る
⑦ 11/5	【到達目標】2点 衣装に合わせたヘアメイクを作ることが出来る	⑮ 1/28	【定期試験】60点 就職活動に向けて、作品を作り上げることが出来る
⑧ 11/12	【到達目標】2点 企業イメージに合わせたヘアメイクを作ることが出来る	<b>【成績評価の方法と基準】</b> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

**【履修に当たっての心構え・留意点】**